

と事情を話すと、坊様は、

「よしよし、私が何とかこらしめてやんぞ。」

と言って山に登って行ったのだと。

その日も、手長足長は、石投げなどをして遊

んでいたんだと。

注一
「この石の落ちたところは、盆地の真ん中だぞ。

みんなよく見ている。」

と、エイッとばかり石を投げて遊んでいたのだと。

そこに、坊様がヤツコラ、ヤツコラ、山を登っ

て来たんだと。

手長足長が、

「こら、坊主、何しに来た。」

